



令和8年 6月3日（水）
石垣市立白保小学校
TEL：86－7840
FAX：86－7396



小満芒種（スーマンボースー）



6月6日（土）は二十四節気の一つ「芒種（ぼうしゅ）」で、沖縄では前の節気の「小満」と合わせて「小満芒種（スーマンボースー）」と呼ばれ、梅雨の時期を表す言葉です。

しかし、今年の八重山地方では梅雨なのにあまり雨が降っておらず、これから水が大量に必要な夏の水不足がとても心配です。先日の台風6号が雨をもたらしてくれるかと思いましたが、大した雨量ではなかったようで残念です。さて、今月は**14日（日）にPTAの美化作業**と**18日（木）に白保海神祭**の行事を控えています。どちらも学校や子どもたちにとって大切な行事ですが、この時ばかりは雨雲にはお休みしていただきたいと思います。

さぶっ子の活躍 各種大会の入賞

第30回春季小学生バレーボール新人大会(4/18)

【3位】白保バレーボールクラブ

【優秀選手賞】嘉弥真 璃紅（6年）



第31回夏季小学生バレーボール大会(5/9)

【3位】白保バレーボールクラブ

6年生が かっこいい！

先月の1年生を迎える会では、2～6年生の子どもたちが1年生を楽しませようとする微笑ましい姿が見られました。この時だけでなく、普段の生活でもこの1ヶ月の間に6年生が輝く姿を見せてくれたので簡単に紹介します。○ある朝、1年生の男の子が教室の前で困っていると、丁度登校してきた6年生の男の子がその姿を見て、とっさに判断し、機転を利かせてお世話をしてくれました。○ある日の放課後、1年生の女の子が一人で下校しなければならなくなりました。その子は学校に兄弟もいなくて、近所に顔見知りの上級生もいないので一人で下校させるのは心配だな～と思っていると、6年生が近所に住む同級生の女の子を教えてくださいました。その子に「1年生と一緒に帰ってほしい」とお願いすると、すぐに「分かりました！」という明るい返事で引き受けてくれました。昨年も、1年生の困り事に6年生が入って助けてくれたことがあります。このように、6年生になると最上級生としての自覚か余裕か、下級生に優しく接する姿が時々見られます。一生懸命な姿もそうですが、見ていてとっても「かっこいいな～」と思います。

5月13日 1年生を迎える会



叱ってはいけない？

昨今、ほめて育てることが有効だという考え方が広がっていますが、それを「叱らない」「叱ってはいけない」というふうに間違えて解釈してしまう大人がいる、とある本に書いてありました。「ダメなことはダメ」というときに叱られないと、社会に出てから「世界からの押し返し」（決まりやルール、義務や責任）によってつぶれていくという話です。簡単に言うと、小さいうちからわがままを通していたら、大きくなってその子が苦しみますよ、ということです。（『「叱らない」が子どもを苦しめる』 藪下遊・高坂康雅著（筑摩書房））

世の中は思い通りにならないことの方がむしろ多いので、それを受け入れられる「しなやかさ」と、へこたれない「強さ」を持ってほしいと思います。そのためには、叱られること、わがままを我慢すること、考え方を柔軟に変えられることが必要でしょう。「しなやかさ」と「強さ」を身に付けた子どもは自分の思いや考えを広げ、社会という共同体で活躍できる人材に育っていきます。

（以上「教育資料」より抜粋）

ちなみに、「叱る」と「怒る」の違いは何だと思えますか？ 答えは…「そこに愛があるかないか」です。「あんたそこに愛はあるんか？」でおなじみの某消費者金融会社のCMの言葉ですが、「叱る」には、「今叱らなければその子の将来のためにならない」というれっきとした理由があり、そこに愛はあります。一方「怒る」は、自分の都合を優先していて、それを邪魔する子どもに対して怒りの感情をぶつけているだけにすぎません。つまりそこに愛はないのです。ご家庭でもこのことをご理解いただき、子どもが良くない嘘をついたときなど、「そこに愛がある」叱り方で、共に子どもたちを正しく導いていきましょう。今後とも学校と家庭の連携をどうぞよろしくお願いいたします。

